

第1回理事会会議録

- 日 時 平成19年4月16日(月)午後3時20分～同5時
- 場 所 日本歯科医師会 801会議室
- 出席者 <会 長> 江藤一洋
<副 会 長> 黒崎紀正、井出吉信
<総務理事> 住友雅人
<常任理事> 高津茂樹、川添堯彬、相馬邦道、高木忠雄、
佐藤田鶴子、平井敏博、土屋友幸、江里口 彰、
恵比須繁之、宮崎 隆、栗原英見、荒木孝二
<理 事> 工藤逸郎、束理十三雄、瀬戸皖一、野口俊英、
中垣晴男、福島和昭、岡野友宏、覚道健治、
山田好秋、森崎市治郎、佐貫直通
- 第21回日本歯科医学会総会
<会 頭> 大塚冰兵衛
<準備委員長> 伊藤公一
<事務局長> 松村英雄
- 欠席者 <常任理事> 相馬邦道
<理 事> 山根源之

[議長 江藤会長]

1. 開 会

黒崎副会長から、開会の宣言がなされた。

2. 挨拶

江藤会長から、挨拶がなされた。

引き続き、大塚会頭から、第21回日本歯科医学会総会の準備に関わる進捗状況報告を含めた挨拶がなされた。

(ここで、日程の一部を変更し、協議に入った。)

4. 協 議

1) 常任理事の指名について

住友総務理事から、常任理事の欠員に伴う補充（1名）について諮られ、人事案件であり、江藤会長が日本補綴歯科学会選出の平井敏博先生を常任理事に指名した。

2) 理事の業務分担について

住友総務理事から、理事の交替に伴う、役員業務分担の変更について諮られ、原案どおり決定した。

- ▷ 英文雑誌 平井常任理事（前任者：赤川常任理事）
- ▷ 歯科学術用語 岡野理事（前任者：石橋理事）
- ▷ 歯科評価 覚道理事（前任者：岡野理事）

3. 報 告

1) 一般会務報告

住友総務理事から、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

- 一般会務報告（平成19年3月9日～4月15日）
- 第11回常任理事会会議録（平成19年3月9日開催）
（日本歯科医学会平成19年度諸会議開催予定）

2) 第21回日本歯科医学会総会準備状況報告

伊藤準備委員長から、次の資料に基づき、準備状況報告がなされた。

- 第21回日本歯科医学会総会準備状況報告
（平成19年3月9日～4月15日）
- 第1回記者会見用プレスリリース

3) 会計現況報告

高木常任理事から、次の資料に基づき会計現況報告がなされた。

- 学会会計（平成18年4月1日～平成19年3月31日）
- 第21回日本歯科医学会学術大会会計
（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

旅費支給の運用について（地方の宿泊費）

- ▷ 地方の先生が会議等で出席要請があった場合は、1回の旅行につき、

午前・午後にかかわらず1泊の支給とする。

4) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

① 歯科医療協議会の開催について

江藤会長から、標記協議会の設置について、委員構成（案）の資料に基づき諮られ、協議の結果、原案どおり決定した。

② 専門部会の設置について

江藤会長から、本協議会の部会の設置について諮られ、提案どおり決定した。

③ 歯科診療報酬の評価・再評価の提案書への対応（整理・分類）

黒崎副会長から、標記について、3月29日と4月6日付けで各専門分科会へ医療技術の評価・再評価に係る提案書の提出を依頼した経緯の説明がなされた。

引き続き、4月20日の締め切りをもって各専門分科会から提出された提案書の整理・分類作業の担当者には、住友総務理事と荒木常任理事が指名された。

④ 歯科診療ガイドラインの作成

▶ 実践マニュアル／エビデンスに基づく一般歯科診療における院内感染対策（診療ガイドライン）の認定

佐藤常任理事から、今後発刊予定である標記ガイドラインの実践マニュアル版の企画について、制作中のチラシ（案）を基に報告がなされた。

- ・ 監修権者 日本歯科医学会（代表 江藤一洋）
- ・ 出版権者 株式会社永末書店（代表取締役 永末摩美）
- ・ 定価 2,400円（会員特別価格 1,800円）

(2) 歯科医療技術革新の推進

▶ 歯科医療機器産業ビジョン作成協議会報告（第6回）

江藤会長から、標記について、会議録を基に報告がなされた。

(3) 学会機構改革の推進

江藤会長から、本学会の機構及び運営上の問題点を洗い出し、担当

である井出副会長と事前協議を進め、対応を図る旨の報告がなされた。

(4) 認定医・専門医制度の確立

①日本歯科保存学会及び日本補綴歯科学会の専門医資格認定団体の申請

②日本インプラント学会の専門医資格認定団体に係る基準該当届
住友総務理事から上記2点について報告がなされた。

③専門医制協議会の設置について

江藤会長から、標記協議会の設置について諮られ、協議の結果、日本口腔インプラント学会からの「口腔インプラント専門医」の申請を踏まえ、設置を決定した。なお、協議会委員の選考については、会長一任とした。

④専門医制審議会の設置について

江藤会長から、標記審議会の立ち上げに関わる趣旨説明がなされ、協議の結果、有識者を交えた委員構成とすることで同審議会の設置を決定した。

(5) 国際交流の推進

①タイロイヤルデンタルカレッジとの学術交流協定の締結について

江藤会長から、標記学術交流協定を5月上旬に締結する旨の報告がなされた。

②中華口腔医学会との会談 覚書

江藤会長から、標記学会との会談について資料を基に報告がなされた。

▶日中歯科医学大会2008（仮称）の開催について

江藤会長から、標記大会の開催について諮られ、協議の結果、同大会の開催を決定した。引き続き、同大会の準備・運営を進めるために準備委員会の設置も併せて決定し、委員の選考については会長一任とした。

- ・ 開催期間：2008年9月16日から18日までの3日間（予定）
- ・ 開催場所：中国・西安

③FDIにおける日歯支援体制の構築

江藤会長から、標記については、神原教授（大歯大）のもとで具体案を作成中である旨の報告がなされた。

5) 日本歯科総合研究機構、日本学術会議と国際歯科研究学会日本部会（JADR）との連携協力のあり方

住友総務理事から、標記組織との人事交流推進について諮られ、協議の結果、関係団体との双方向人事の観点から本学会役員会へオブザーバーとしての出席を次のとおり決定した。

- ・ 日本歯科総合研究機構（石井拓男）＝常任理事会及び理事会
- ・ 日本学術会議（渡邊 誠）＝理事会
- ・ 国際歯科研究学会日本部会（小田 豊）＝理事会

6) 歯科学術用語集の出版契約について

住友総務理事から、標記について資料を基に報告がなされた。

7) 歯科保険治療に用いる矯正治療用機器並びに材料等の取り扱いについて

黒崎副会長から、標記について資料を基に報告がなされ、既に関連する社団法人日本口腔外科学会と日本矯正歯科学会へ通知していることを確認した。

8) 歯科医療安全における心肺蘇生法の取り扱いについて

住友総務理事から、標記について資料を基に報告がなされ、対応委員会の設置の必要性が確認された。

9) 医師又は歯科医師に対する継続的医学教育に関する依頼について

住友総務理事から、標記依頼について資料を基に報告がなされた。これは、本年4月1日より、行政処分を受けた医師又は歯科医師に対して再教育研修を実施するものであり、各専門分科会へ情報提供することとした。

10) 診療行為に関連した死亡の死因究明等のあり方に関する課題と検討の方向性に対するパブリックコメントの募集について

住友総務理事から、標記募集について資料を基に報告がなされた。これは、本学会が「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」へ参加している立場から関係方面へパブリックコメント求めるものである。

11) 平成19年度8020研究事業の公募について

住友総務理事から、標記研究事業の公募について、資料を基に報告がなされた。

この件については、各専門分科会へ情報提供することとした。

12) 第4回（平成19年度）日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について

住友総務理事から、標記候補者の推薦について、資料を基に報告がなされた。

この件については、各専門分科会へ情報提供することとした。

13) 歯の健康を考えるシンポジウム「介護の観点から考える歯周病と全身疾患～誤嚥性肺炎を中心に～」への後援名義貸与について

住友総務理事から、標記後援名義貸与について資料を基に報告がなされ、既に使用許可の回答が済んでいることを確認した。

5. 閉 会

井出副会長から、閉会の辞が述べられた。

【別添資料】

- ①エビデンスに基づく一般歯科診療における院内感染対策（診療ガイドライン）とリーフ
- ②歯科衛生士教育における臨地実習指導の在り方とその到達目標に関する研究
- ③メタボリックシンドローム撲滅運動キャンペーンオフィシャルガイドブック2006